

2017年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」

3年次調査の概要

- 調査対象者 学部 2015年度生全員。
- 調査方法 2017年度秋学期成績通知書交付時に調査票を配布し、その場で学生に回答してもらい回収した。なお、本調査の回答と1年次終了時点での回答（2015年度実施済み）を照合させるため、学生IDの記入を求めている。
- 回収状況 有効回収数は4111票であり、在籍者数に対する有効回収率は65.6%であった。

学部別回収状況（3年次調査）

	在籍者数	回収数	無効数	有効数	粗回収率	有効回収率
	①	②	③	②-③=④	(②/①)	(④/①)
神学部	63	51	2	49	81.0%	77.8%
文学部	666	417	6	411	62.6%	61.7%
社会学部	476	349	1	348	73.3%	73.1%
法学部	824	560	11	549	68.0%	66.6%
経済学部	857	462	1	461	53.9%	53.8%
商学部	878	675	14	661	76.9%	75.3%
政策学部	383	120	0	120	31.3%	31.3%
文化情報学部	308	153	0	153	49.7%	49.7%
理工学部	892	761	8	753	85.3%	84.4%
生命医科学部	212	151	1	150	71.2%	70.8%
スポーツ健康科学部	222	141	0	141	63.5%	63.5%
心理学部	158	96	1	95	60.8%	60.1%
グローバル・コミュニケーション学部	142	91	0	91	64.1%	64.1%
グローバル地域文化学部	186	129	0	129	69.4%	69.4%
合計	6267	4156	45	4111	66.3%	65.6%

2017 年度 キャンパスライフに関するアンケート調査(2015 年度生用)

アンケートご協力をお願い

同志社大学学習支援・教育開発センターでは、より良い教育プログラムの開発を目的として、みなさんが本学の教育に対してどのように感じておられるかを把握するため、調査を実施しています。回答いただいた内容は、すべて数値に置き換えられ統計的に処理されますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありません。また、調査結果が本学の教育改善以外の目的に使用されることもありません。本学の教育に対するみなさんの意見を知るための貴重な資料となりますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

- 回答の仕方は、質問文の指示にしたがってください。
- ほとんどの質問は、あてはまる番号に○をつけてお答えください。
- いくつかの質問には、数値や文字を記入してください。
- 回答したくない質問には、無理に答えていただくなくて結構です。
- 質問は全部で28問あります。10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

キャンパスライフに関するアンケート調査は、みなさんが1年次を終えた時点と3年次を終えた時点と比較し、どのような変化が生じたかを探る計画をしています。そのため、Q4で学生 ID の記入を任意でお願いすることになっています。もちろん、個人を特定した分析結果を示そうとする意図ではありませんので、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、キャンパスライフに関するアンケート調査の集計結果は、「CLF REPORT」(毎年3・10月発行)や学習支援・教育開発センターHP (<http://clf.doshisha.ac.jp/investigation/investigation.html>)にて、一部、公開しています。

同志社大学学習支援・教育開発センター
E-mail: ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp
TEL: 075-251-3277

Q1. あなたが所属している学部・学科をお答えください。

()学部()学科・コース

Q2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

Q3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅通学 2. 自宅外通学

Q4. 学生 ID をお答えください。

ID

--	--	--	--	--	--	--	--

Q5. あなたの2017年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 1.00 ポイント未満 | 2. 1.00～1.49 ポイント | 3. 1.50～1.99 ポイント |
| 4. 2.00～2.49 ポイント | 5. 2.50～2.99 ポイント | 6. 3.00 ポイント以上 |

Q6. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。

1. 上位の方 2. 中の上ぐらい 3. 中ぐらい 4. 中の下ぐらい 5. 下位の方 9. わからない

Q7. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 1. 一般入試 | 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校) |
| 2. 指定校推薦入試 | 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試 |
| 3. 推薦選抜入試(公募制) | (法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む) |
| 4. AO入試 | 11. スポーツ推薦選抜入試 |
| 5. 大学入試センター試験を利用する入試 | 12. 第2年次転入学試験、第3年次転入学試験、第3年次編入学試験 |
| 6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校) | 13. 社会人特別選抜入試 |
| 7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) | 14. 外国人留学生入試 |
| 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校) | |

Q8. あなたの第一志望校はどこでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現在、在籍している学部(学科) 2. 本学の他学部(他学科) 3. 私立他大学 4. 国公立大学
5. 短期大学 6. 専門学校 7. その他(具体的に)

Q9. 入学前の状況として、最もあてはまる番号に○をつけてください。

1. 国内の高校に在学 2. 浪人していた(予備校に在学も含む) 3. 国内の他大学・短大に在学
4. 国内の専門学校に在学 5. 会社で働いていた 6. 海外留学していた 7. その他()

Q10. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	いえない	どちらとも	やや不満	不満	
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9	
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9	
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9	
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9	
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9	
6) ラーニング・コモンズの環境や設備	1	2	3	4	5	9	
7) 各学部が設置している学習スペースの環境や設備	1	2	3	4	5	9	
8) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9	
9) 就職に関する情報提供や相談	1	2	3	4	5	9	
10) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9	

(履修・利用していない)

Q11. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目) | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 先端領域科目 | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス) |
| 3. 複合領域科目 | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目 |
| 4. プロジェクト科目 | 9. キャリア形成支援科目 |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目 |

Q12. あなたは次のような力が、今までの学生生活を経験されて、どの程度身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	つ 身 に な か っ た	あ ま り 身 に な か っ た	つ や 身 に な か っ た	身 に な か っ た
1) 一般的な教養	1	2	3	4
2) 専攻分野や学科の知識	1	2	3	4
3) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4
4) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4
5) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4
6) 課題を解決する力	1	2	3	4
7) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4
8) プレゼンテーションの力	1	2	3	4
9) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4
10) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4
11) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4
12) 英語の能力	1	2	3	4
13) 英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4
14) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4
15) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4
16) チームワーク	1	2	3	4
17) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4
18) リーダーシップの能力	1	2	3	4
19) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4
20) 異文化の人々と協力する能力	1	2	3	4
21) 批判的に考える力	1	2	3	4
22) 効果的に学習する技能	1	2	3	4
23) 自ら考え行動する力	1	2	3	4
24) キリスト教精神	1	2	3	4
25) 日本文化に関する知識	1	2	3	4
26) コミュニケーション能力	1	2	3	4

Q13. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4
12) 科目登録する際にシラバスを読んで授業内容(概要、到達目標、授業計画等)を確認する	1	2	3	4

Q14. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールド・ワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

Q15. あなたは、大学入学後に次のような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

Q16. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方に触れること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 協調性を持つこと	1	2	3	4
9) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
10) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
11) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
12) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
13) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

Q17. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	そう思う
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

Q18. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4

Q19. あなたは、**今学期(秋学期)**、授業を何単位登録しましたか。また、登録した授業のうち、7割(11回)以上出席した授業の割合はどのくらいありましたか。休学等の理由で授業の登録を行わなかった場合は0(ゼロ)と記入してください。

1) 登録した授業の単位数

--	--

単位

2) 7割(11回)以上出席した授業の割合

--	--	--	--

%

Q20. あなたは授業期間中、**通常 1 週間に**約何時間、次の活動を行いましたか。まったくしなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

1) 授業中以外の学習(授業の予習・復習、課題作成、実験、リハーサル等)

時間 くらい

2) 仕事またはアルバイト

時間 くらい

3) クラブ・サークル活動

時間 くらい

4) 授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を除く)

時間 くらい

5) 学部卒業後の進路に向けた活動(就職イベント・インターンシップへの参加、
公務員・資格試験の準備等)

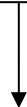
時間 くらい

Q21. あなたは現在、クラブ・サークル等の団体に加入していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現在、加入している

2. 以前は加入していたが、現在は辞めている

3. 加入したことはない



Q23に進んでください。

Q22. あなたが加入している(していた)団体は次のどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

* 複数の団体に加入している(していた)場合は、もっとも熱心に取り組んでいる(いた)団体についてお答えください。

* 「公認団体以外の学内団体」には、学生支援センター登録団体を含みます。

- | | | | | |
|-------------|------------------|-------------|-----------------|----------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 公認団体
体育会 | 公認団体
スポーツブロック | 公認団体
文化系 | 公認団体以外
の学内団体 | その他
(具体的に) |

Q23. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|--------|--------------------|-----------|-------------------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 満足している | どちらかといえば
満足している | どちらともいえない | どちらかといえば
不満である | 不満である |

Q24. あなたは、本学に対してどのくらい愛着がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|--------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 非常に
愛着がある | かなり
愛着がある | ある程度
愛着がある | あまり
愛着がない | まったく
愛着がない |

Q25. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	し な か り な か っ た	あ ま り に し た	た ま に し た	し た 日 常 的 に
1) 図書館を利用する	1	2	3	4	
2) ラーニング・コモンズを利用する	1	2	3	4	
3) 各学部が設置している学習スペースを利用する	1	2	3	4	
4) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4	
5) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4	
6) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4	
7) 学習の計画を立てる	1	2	3	4	
8) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4	
9) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4	
10) ボランティア活動をする	1	2	3	4	
11) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4	
12) 部活・サークル活動に参加する	1	2	3	4	
13) アルバイトをする	1	2	3	4	
14) 語学に関する勉強をする	1	2	3	4	
15) ゼミや卒業論文、卒業研究に取り組む	1	2	3	4	
16) 公務員・教員採用試験の勉強をする	1	2	3	4	
17) 資格試験の勉強をする	1	2	3	4	
18) キャリアセンターを利用する	1	2	3	4	

Q26. あなたは所属している学部の「カリキュラムの編成と運用方針(カリキュラムポリシー)」と「卒業までに習得すべき力(ディプロマポリシー)」について、どのくらい知っていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	よ く 知 っ て い る	少 し 知 っ て い る	聞 い た こ と が あ る	ま っ た く 知 ら な い
1) カリキュラムの編成と運用方針(カリキュラムポリシー)	1	2	3	4
2) 卒業までに習得すべき力(ディプロマポリシー)	1	2	3	4

Q27. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------------|--------------|
| 1. 民間企業に就職する | 2. 公務員や教員として就職する | 3. 自営業や家業を継ぐ |
| 4. 大学院に進学する | 5. 他大学に(編)入学する | 6. 専門学校に進学する |
| 7. まだわからない | 8. その他(具体的に) | |

Q28. あなたが働くこと(希望進路)について真剣に考え始めたのはいつごろですか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

- | | | |
|-----------------|------------------|-------------|
| 1. 大学入学前 | 2. 大学1年生のとき | 3. 大学2年生のとき |
| 4. 大学3年生の4月から9月 | 5. 大学3年生の10月から3月 | 6. まだ考えていない |

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学学習支援・教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

授業に対する取り組み（Q13）

ここでは、授業に対する学生の取り組み状況をみていく。Q13 では、授業に対する行動や態度を捉えることを目的に、12 項目を設定し、各項目に対して 4 段階（「全くしない」、「あまりしない」、「たまにする」、「よくする」）で質問している。図 1 は、実行頻度の多い順に項目を並べたものである。「授業課題の提出」を「よくする」と回答した学生はおよそ 6 割（58.3%）を占め、「全くしない」との回答は 2%（1.9%）に満たない。「黒板に書かなかったことでもノートを取る」ことや「試験前に時間をかけて勉強する」ことについても、多くの学生は実行（「たまにする」「よくする」）できている。加えて、半数ほど（49.5%）の学生は「業者の講義ノートを購入する」ことを「全くしない」。また、「科目登録する際にシラバスを読んで内容を確認」することについては、「たまにする」までを含めると、8 割以上の学生が行っていることがわかった。

こうした一方、7 割近い（68.0%）学生は「授業をつまらなく感じる（ている）」ようである。さらに、「授業の予習や復習をする」ことを「たまにする」もしくは「よくする」学生は 5 割ほど（50.2%）にとどまり、「授業内容について教員に質問する」ことに至っては、実行している学生は 4 割（41.6%）に過ぎないことが図 1 には示されている。

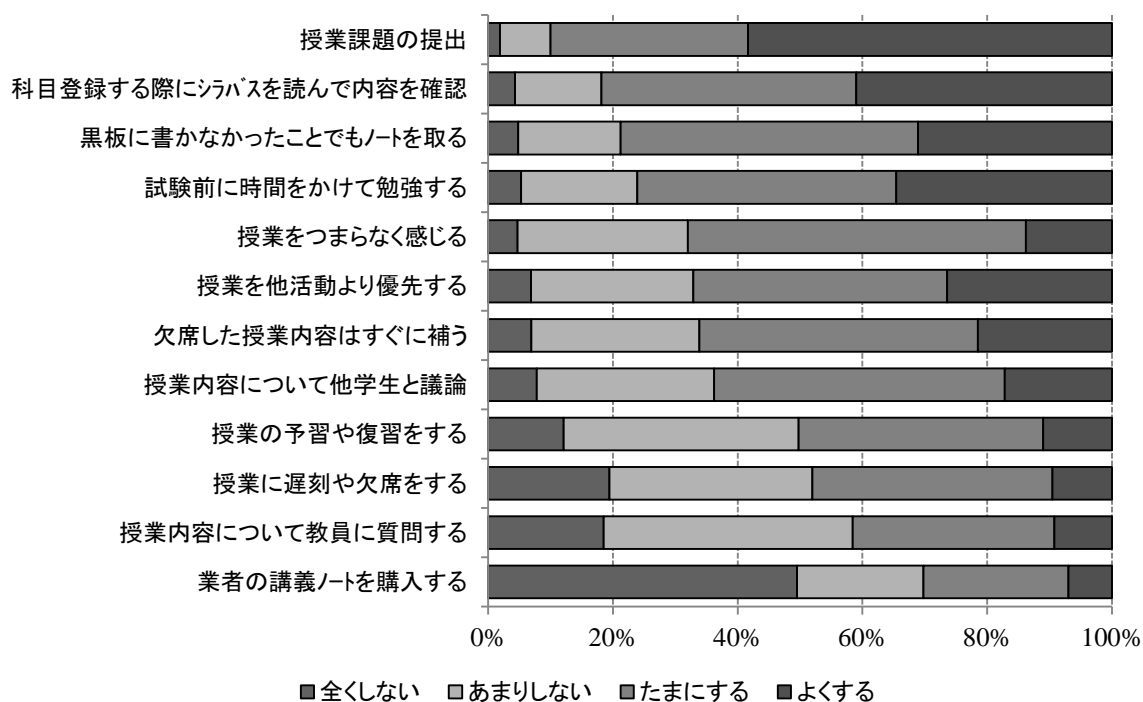


図 1：授業に対する取り組み

授業の形態・方法（Q14）

Q14では、3年間の大学生活のなかで、学生がどのような形態・方法の授業を受講してきたのかを把握するために、11項目を設定し、それぞれの項目に対して「全くなかった」から「よくあった」までの4段階で回答を求めている。回答の結果を集約した図2をみると、大部分の学生は「出欠の確認」や「定期的な課題提出」を日常的に経験していることがうかがい知れる。同時に、3年次終了段階でも、約4割の学生は「フィールド・ワーク」、「体験学習」、「実習・実験」といった実践形式の授業を全く経験していないことも図2には示されている。

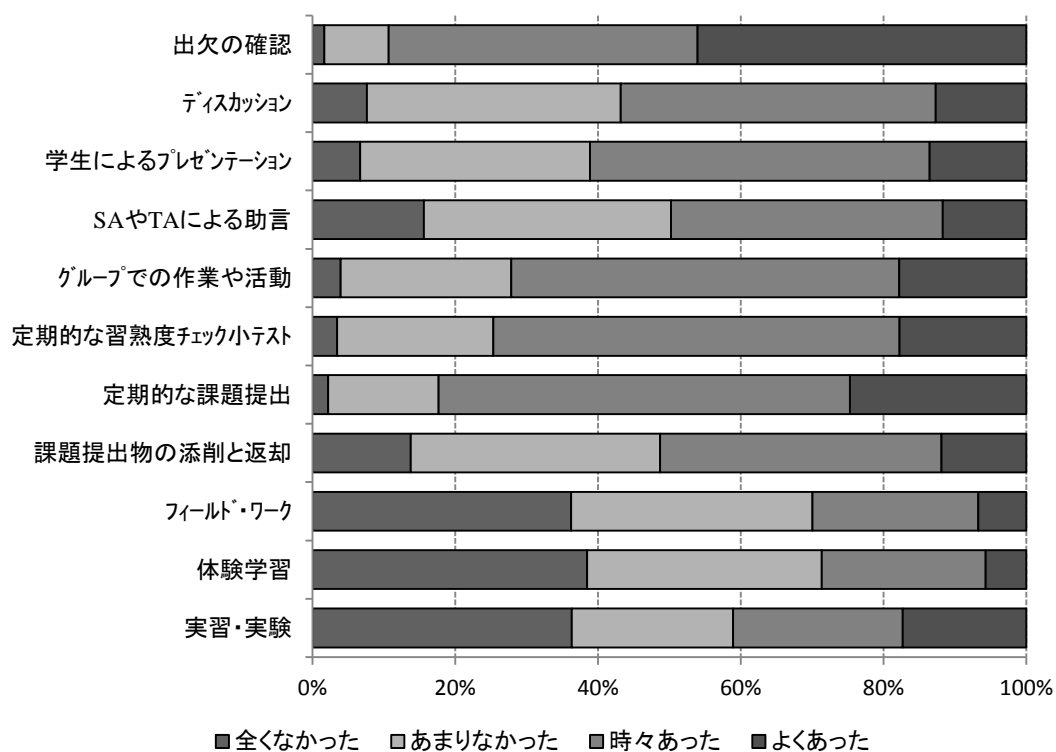


図2：授業の形態・方法

留学等の経験（Q15）

Q15では、大学入学後の留学等の経験を尋ねている。回答の結果をまとめた図3によると、大学入学から3年あまりが過ぎた段階においても、留学経験がある者は一部の学生に限られることがわかる。「語学研修プログラムへの参加」は14.1%、「正規交換留学生として留学」が4.3%、「私費留学生として留学」が6.3%であった。

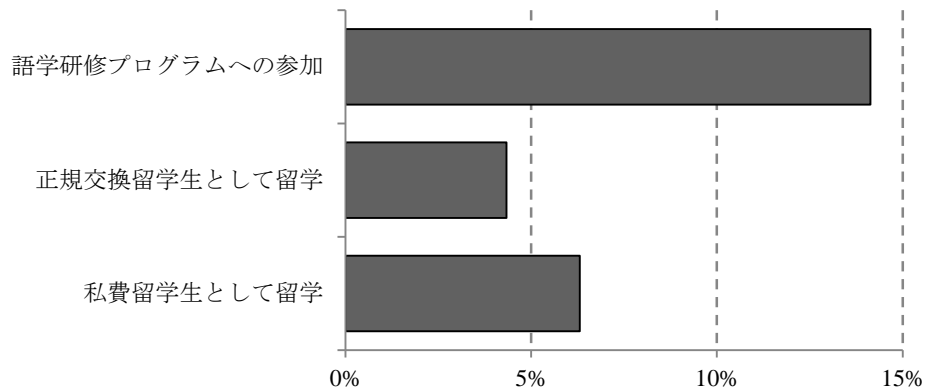


図3：留学等の経験

授業に対する評価（Q16）

Q16では、大学の授業内容がどの程度に役立っているのか、13項目にわたって質問を行い、各項目についてそれぞれ「役に立たなかった」、「あまり役に立たなかった」、「やや役に立った」、「役に立った」の4段階で回答を求めている。図4は、「やや役に立った」と「役に立った」の合計（%）が多い順に項目をまとめたものである。

図4には、授業に対する学生の評価は、項目によって異なっていることが示されている。学生の評価がもっとも高かった項目は「多様なものの見方にふれること」であり、8割を上回る（83.6%）学生が役立った（「役に立った」と「やや役に立った」の合計）と回答している。「探究心を持つこと」、「大学生としての自覚を持つこと」、「協調性を持つこと」に関しても、学生の評価はきわめて高い。反面、こうした項目に対する評価と比べて、「国際的視野の獲得」、「リーダーシップを発揮すること」、「愛校精神を持つこと」への学生の評価はおおむね芳しいものではない。いずれの項目についても、4割近い学生が役に立たなかった（「役に立たなかった」と「あまり役に立たなかった」の合計）と回答している。

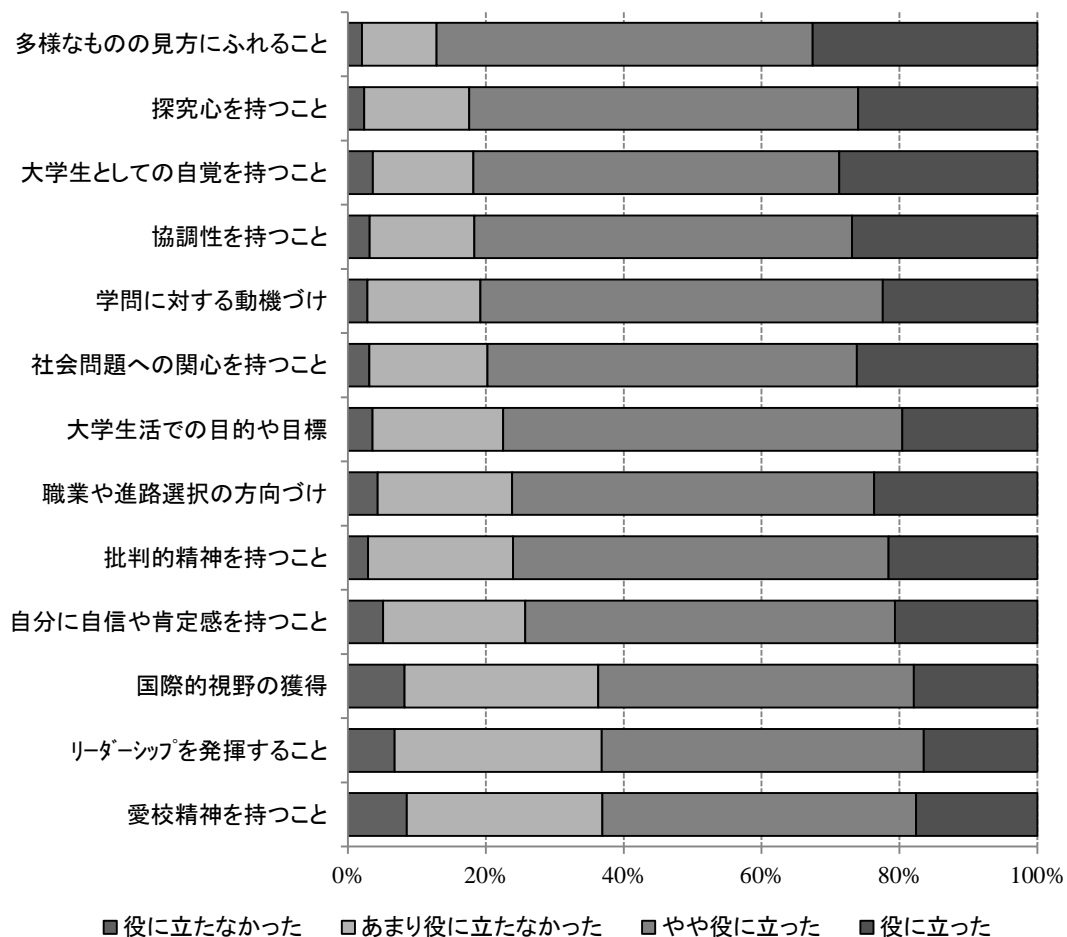


図4：授業に対する評価

大学教育の価値（Q17）

Q17では、本学の学生が大学教育に対してどのような意識を持っているのかを把握するために、6項目を設定し、各項目について「そう思う」から「そう思わない」までの4段階で回答を求めている。

回答結果をまとめたものが図5である。この図をみて、まず気付く点は、3年次生の4/5以上が本学での学びを謳歌し、学ぶことそれ自体に価値があると認識していることである。大学教育の職業的価値と言われている「知識やスキルが将来の職業生活に役立つ」ことや「卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる」ことについても、8割近い学生が肯定的に捉えていることを確認できる。しかしながら、図5には、半数をこえる（54.1%）学生が、大学で「何を学んだかは就職活動の結果に関係ない」と考えていることも同時に示されている。

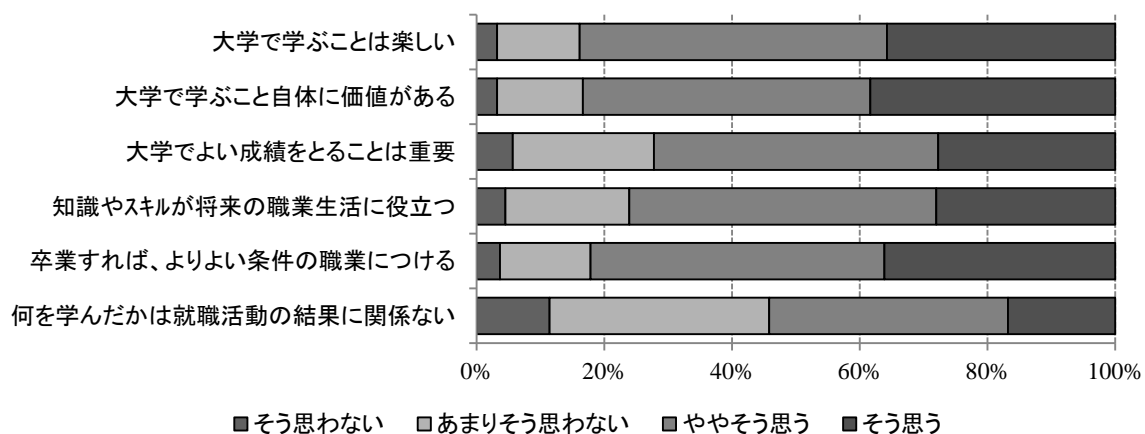


図5：大学教育の価値

大学への適応状況（Q18）

ここでは、大学入学から3年が経過した学生の適応状況を確認していこう。Q18では、友人・教員との関係や、大学生活を過ごすなかで日常的に感じる意識を捉えることを目的に、6項目を設け、それぞれの項目について、「あてはまる」から「あてはまらない」までの4段階で回答を求めている。図6は肯定的な回答である「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計が多い順に項目を集計し並べた結果である。

回答結果をまとめた図6から、大多数の学生が所属している学部・学科だけでなく、他大学にも友人関係を形成していることを確認できる。さらに、「大学の一員だと感じる」に対して、2/3（67.3%）をこえる学生が肯定的な回答（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）を行っている。対して、「大学はいつも退屈だ」、「大学は気おくれして居心地が悪い」への肯定的な回答は3割未満にとどまる。加えて、「大学の教員と交流がある」ことに対する肯定的な回答は過半数を占め、1年次調査の回答と比較して、その比率は著しく増加している。これらの回答結果から総合的に判断すると、本学の学生の多くはアクティブな大学生活を過ごしていると判断できる。

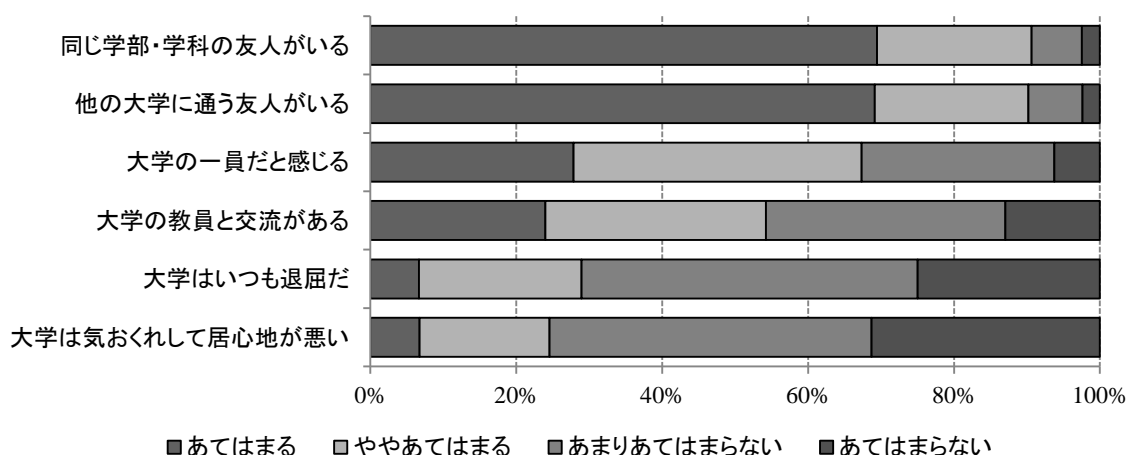


図6：大学への適応

生活時間【部活・サークル、アルバイト、授業外学習、読書】(Q20)

図7は、一週間あたりの「部活・サークル」「アルバイト」時間を示している。「部活・サークル」の活動時間は、「0時間」が42.0%ともっとも多く、平均は6.00時間であった。「アルバイト」でもっとも多いのは「6~10時間」(25.8%)であり、「16~20時間」(19.9%)が続いている。なお、平均は12.25時間であった。

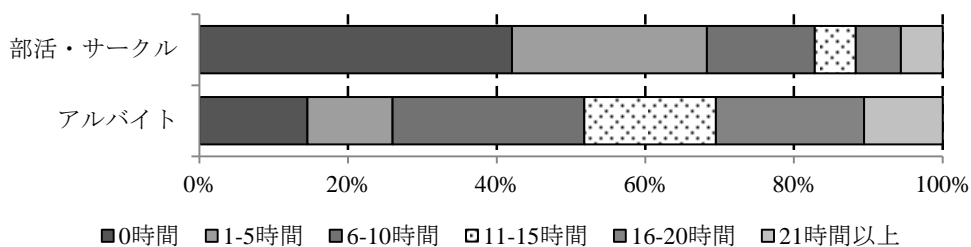


図7: 一週間あたりの部活・サークル、アルバイト時間

図8は、一週間の「授業外学習」、「授業に関係ない読書」、「卒業後の進路に向けた活動」時間を示している。「授業外学習」でもっとも多い回答は「1~2時間」であり3割を大きく上回っている(36.1%)。なお、平均は4.35時間であった。一方で、「授業に関係ない読書」時間は、「0時間」(29.6%)との回答が1/3弱を占め(29.6%)、平均は4.34時間であった。また、2017年度より調査項目に加えた「卒業後の進路に向けた活動」については、「0時間」または「9時間以上」との回答が多くを占め、それぞれ約3割と同程度であった(0時間=29.8%、9時間以上=28.1%)。なお、平均は6.55時間であった。

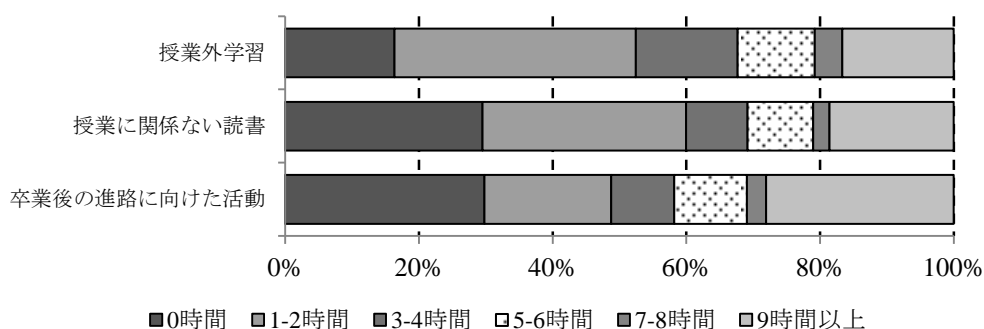


図8: 一週間あたりの授業外学習、読書時間、卒業後の進路に向けた活動

部活・サークル活動（Q21・22）

図9は学生の部活・サークルへの加入状況を示す。3年次終了時点でも、本学では、半数強(50.3%)の学生が部活・サークルに加入している。

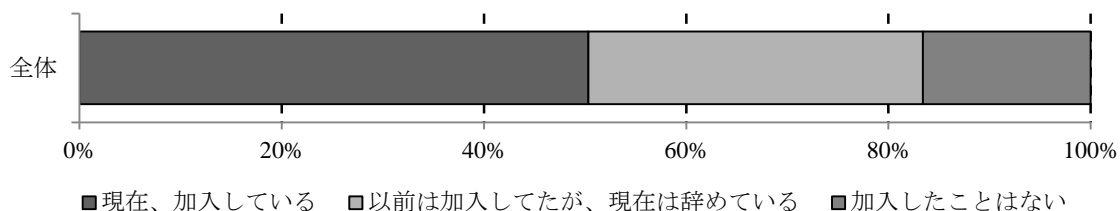


図9：部活・サークル等への加入状況

図10の学生の加入する部活・サークル団体の種別をみると、全体として、もっとも多くが加入している団体種別は「公認文化系」(34.8%)であり、これに、「公認スポーツブロック」(24.1%)が続く。

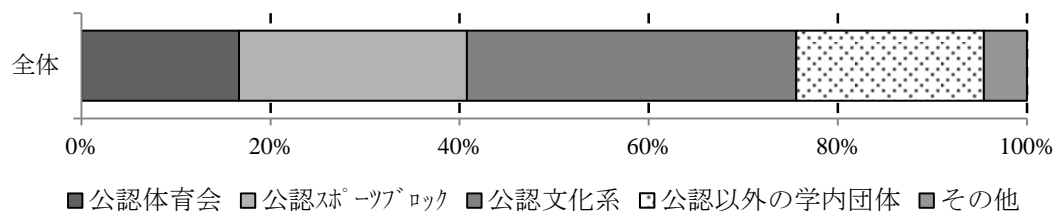


図10：加入団体の種別

満足度（Q23：大学教育全般の満足度、Q10：領域別満足度）

図 11 は本学の教育全般に対する学生の満足度を集計した結果である（回答の選択肢は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の 5 段階である）。大学全体の傾向としては、「どちらかといえば満足している」と回答した学生が 46.6% で最も多く、「満足」(28.7%) との回答を含めると 4 人中 3 人 (75.3%) の学生は本学の教育内容に満足しているようである。一方、「不満」を抱えている学生は 1 割にも満たない（「不満である」=1.4%、「どちらかといえば不満である」=4.2%）。

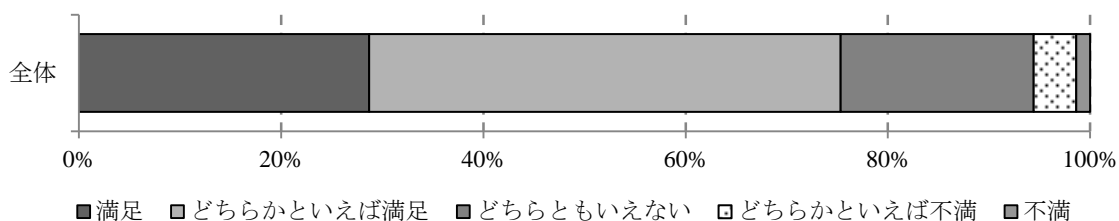


図 11：教育全般に対する満足度

Q10 では、大学の設備環境や授業科目など 10 項目にわたり各領域別に満足度を問うている（回答の選択肢は、「満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の 5 段階である）。図 12 は、「満足」と「やや満足」の合計 (%) が多い順に項目を集計した結果である。

図 12 によれば、「図書館の環境や設備」「所属学部・学科の専門の授業」「教室の設備環境」「ラーニング・commons の環境や設備」の 4 項目に対する学生の満足度は高く、不満（「やや不満」と「不満」の合計）を表明した学生は 1 割を下回っている。

これらの項目と比較して、「免許・資格課程科目の授業」「就職に関する情報提供や相談」「英語・外国語の授業」への学生の満足度はやや低い傾向にあることが読み取れる。

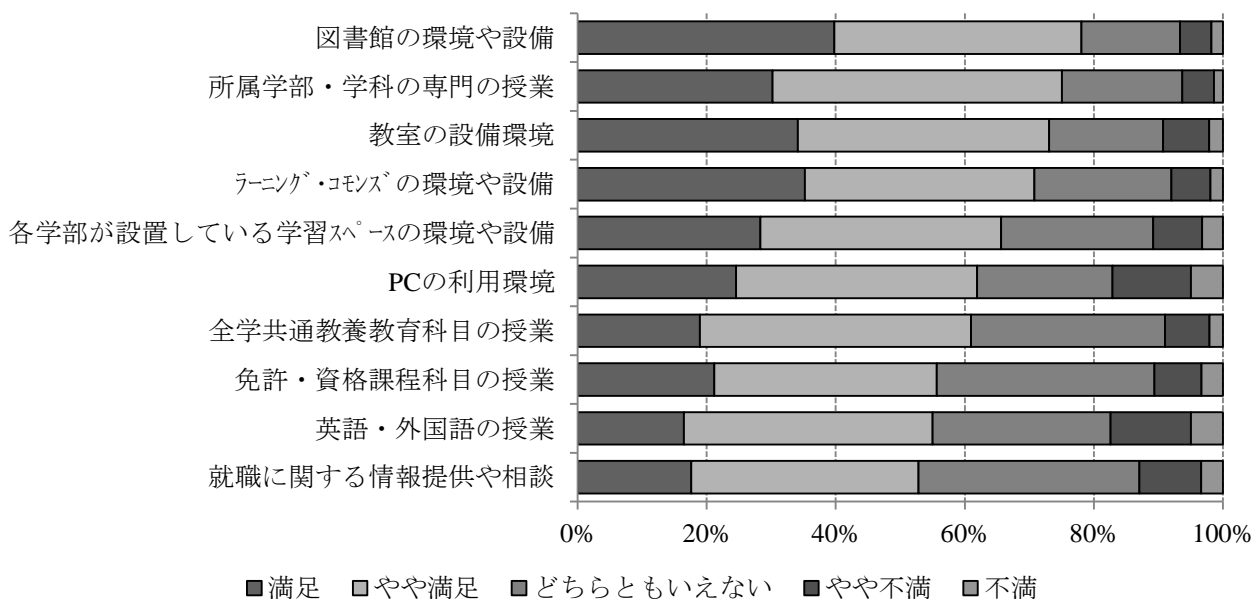


図 12：領域別満足度

大学に対する愛着（Q24）

図13は、「あなたは、本学に対してどのくらい愛着がありますか」という設問（Q24）に対する回答を整理したものである（回答の選択肢は、「非常に愛着がある」、「かなり愛着がある」、「ある程度愛着がある」、「あまり愛着がない」、「まったく愛着がない」の5段階である）。

図13には、3年次終了時点で、4割を大きくこえる学生が本学に対して強い愛着をもっていることが示されている（「非常に愛着がある」と「かなり愛着がある」の合計=45.4%）。そうした一方、「あまり愛着がない」との回答は1割未満（9.4%）にとどまり、「まったく愛着がない」との回答にいたってはわずか2.7%であった。

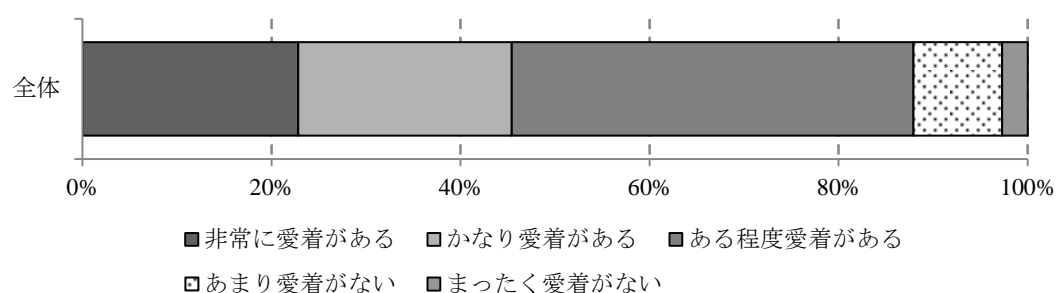


図13：大学に対する愛着

学習・生活習慣（Q25）

ここでは、大学に入学して3年を経た学生の学習行動や生活習慣について検討する。図14は、肯定的な回答である「日常的にした」と「たまにした」の合計が多い順に回答をまとめた結果である。1年次調査の結果と同様に、「PCを使って文書や資料を作成する」「インターネットで情報を収集する」「図書館を利用する」の実行頻度は高いことが示されている。3年次調査の独自項目については、「アルバイトをする」「部活・サークルに参加する」「ゼミや卒論・卒研に取り組む」の3項目の実行頻度が高く、とりわけ、「アルバイトをする」ことは学生の過半数（53.6%）が「日常的にした」と回答している点が注目される。

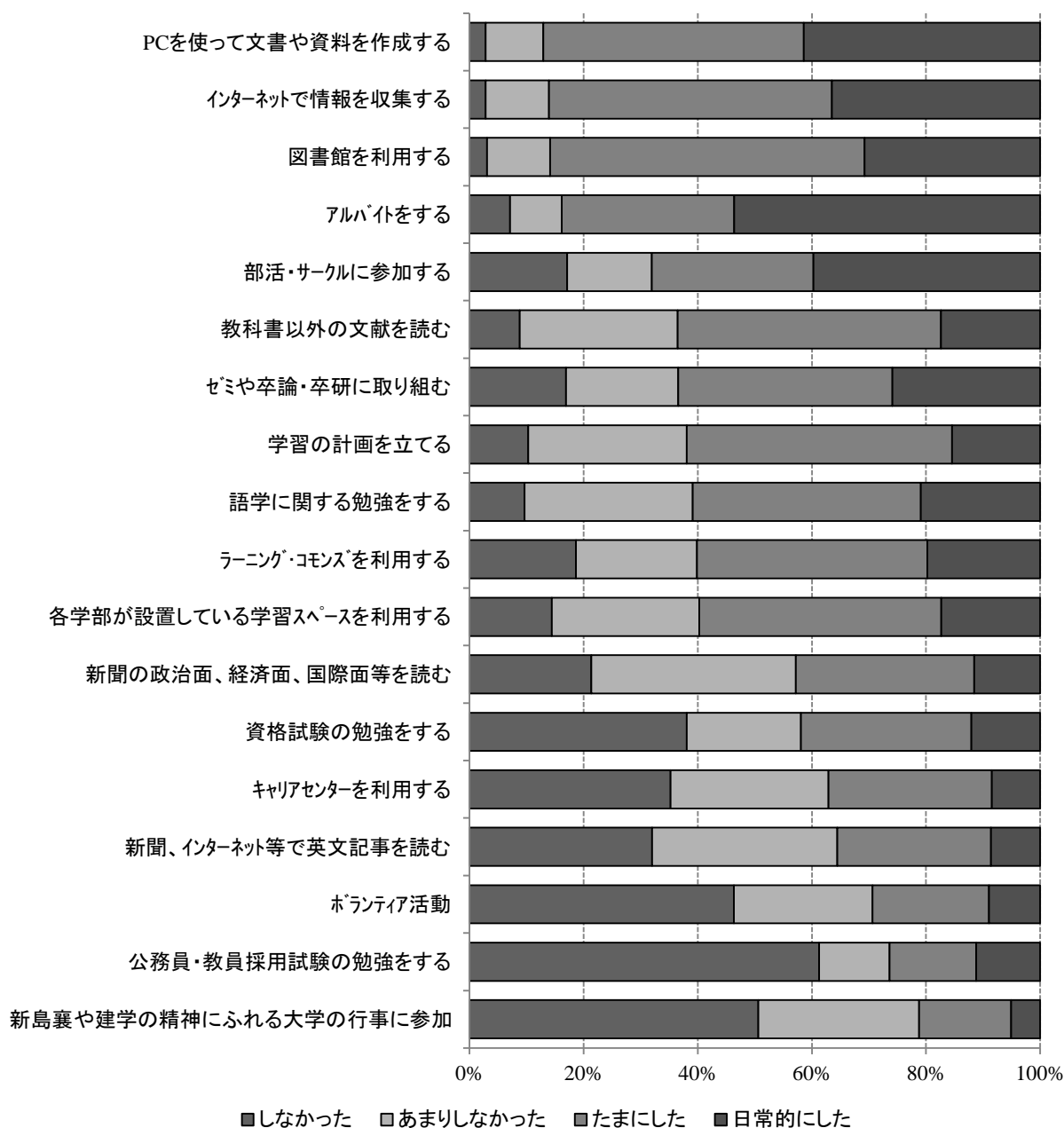


図14：学習・生活習慣

希望する進路（Q26）と考え始めた時期（Q27）

3年次生が卒業後の進路をどのように考えているのかを検討する。図15は、男女別に卒業後の進路希望を集計したものである。男性と比べて、女性の方が、「民間企業・自営業」への就職希望者の割合が大きい（男性=65.0%、女性=76.2%）。そうした反面、女性で大学院進学を希望する学生の割合は6.0%であり、男性（18.5%）の1/3程度にとどまる。

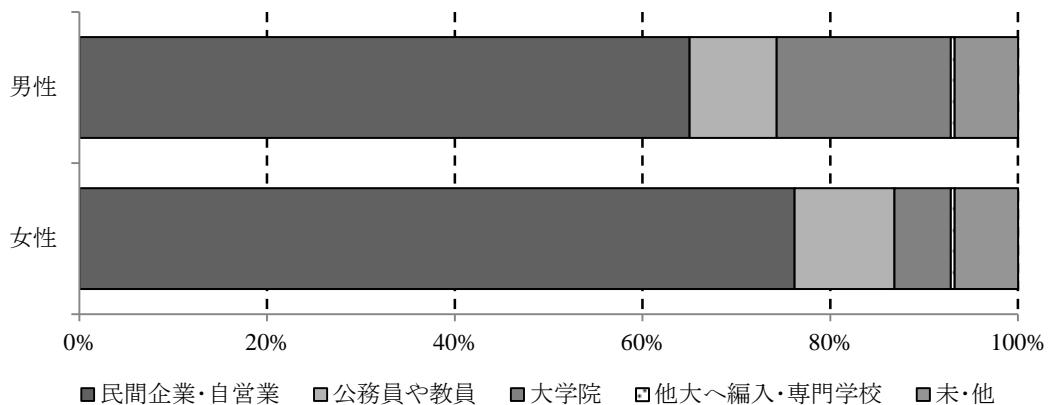


図15：卒業後の希望進路

3年次調査のQ27では、「働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めた」時期について尋ねている。図16は、男女別に集計したものである。図16から読み取れることは、男女ともに、半数以上の学生が3年次生に入ってから「働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めた」ということである。一方、「大学入学前」から希望進路について考えていた学生は男性で13.5%、女性で11.4%であり、女性と比べて、男性の方がわずかながら割合が多い。ただし、「未定」と回答した学生の割合は、女性の方が少なくなっている（男性=7.5%、女性=3.3%）。

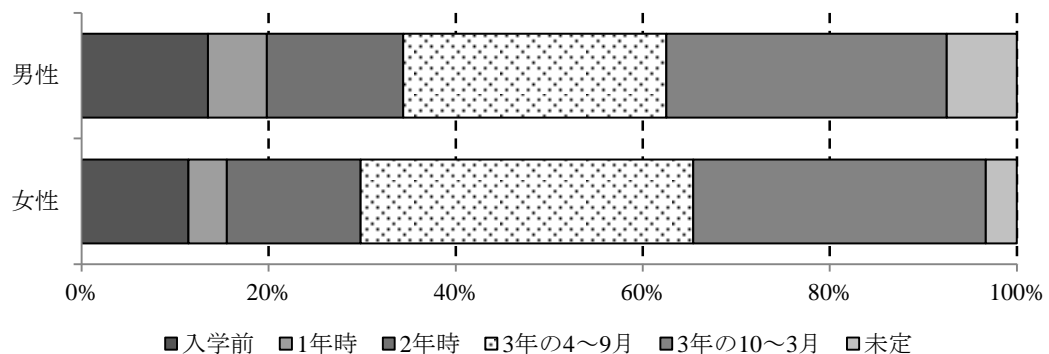


図16：希望進路を考え始めた時期